平成15年度会務・会計報告

幹 事 長 報 告

平成15年度日本弁理士クラブ
幹事長　波多野　　久

一．はじめに

平成15年度は、弁理士法の一次・二次改正に続き、知的財産を国家戦略とする知的財産基本法の成立を受け、その具体的政策を盛り込んだ「知的財産の創造・保護及び活用に関する推進計画」が纏まり、知的財産立国に向けての改革が山積する課題を含んで大きく動き出した時期でした。

「知財推進計画」が具体的に実行される過程で、日本弁理士会も極めて難しい判断・対応を迫られる事態も予想されました。

こうした状況の中で、平成15年度の日本弁理士クラブ（以下日弁という。）は、「積み重ねる信頼、一歩の勇気」というスローガンを掲げて、大きな変革、難しい判断・対応を迫られる日本弁理士会の下坂内閣を協力にサポートしつつ、日弁内各派の結束と連係強化を図りました。

二．平成15年度の活動総括

1.　二度の役員選挙

平成15年度は、春に総括副会長選挙が、秋には会長を含めた役員選挙があり、大きな弁理士会の役員選挙を二度経験しました。

春・秋の役員選挙では、協議委員会の方から慎重な審議を経て最適任者の推薦を受け、選挙対策委員会を立上げ、日弁推薦会員を当選させるべく努力を重ねました。しかし、日本弁理士会役員の日弁独占化などに対する風当たりは強く、残念ながら春の総括副会長、秋の会長候補者の当選は叶いませんでした。協力をいただいた日弁会員の皆様に深くお詫び申し上げます。

ただ、日弁は、日本弁理士会の会務を協力にサポートし、会務の運営に関し責任を持ってバックアップし、政策提言をし続ける責任ある団体であることを申し添えます。

2.　日本弁理士会の組織・役員制度の改革へ

新弁理士法がスタートして以来、懸案となっていた日本弁理士会の組織・役員制度の見直しを鋭意かつ精力的に検討して参りました。

日弁では、組織・役員制度の問題は、会員が急増する状況を踏まえ、日本弁理士会の役員制度の改革（副会長の繁忙性の解消、正・副会長の任期）を図り、日本弁理士会の組織として全国支部制度の構築すべきことを検討し、政策提言してきました。

全国支部制度は、財政基盤を確保した上で、知財立国における知財の担い手として最も期待される弁理士に地域密着型の知財支援活動を行なってご活躍いただき、知財過疎問題を解消しつつ、地域産業の効率のよい知財支援を能率的に図ろうとするものです。

3.　研修の実施

弁理士法の一次及び二次改正を経て、10月下旬に第1回の特定侵害訴訟代理試験が行なわれ、共同的なものでありますが、平成16年早々に、訴訟代理権を獲得した弁理士が誕生しました。

日弁では、第１回の特定侵害訴訟代理試験合格に向けての試験研修を、10月上旬に３回実施しました。

また、試験研修とは別に実務研修として、特許・意匠・商標等の会員研修を協議委員会の協力を得て、５夜連続で集中的に実施しました。

試験研修及び実務研修は初めての企画でしたが、大変好評理に終了しました。

4.　日弁の会則改正

平成15年度は、２度の役員選挙を行ない、会務の活動が資金的に支障の出る状態となってきたため、日弁内５派の会員の皆様方にも任意の寄附をお願いできるように会則を改正させていただきました。各派の日弁分担金の値上げも検討しましたが、デフレ経済下の値上げはそぐわないと判断し、会員の任意

の寄附をお願いすることにしました。

また、日弁の幹事会の任期は４月１日から翌年３月31日までの一年間でしたが、実際の活動は日本弁理士会の委員会委員の推薦等２月から始まることに鑑み、役員任期を２月１日から翌年１月31日までの１年間となるように会則改正を行ないました。

5.　新審判制度への対応と特許異議申立制度の廃止等について

特許異議申立制度の廃止および新審判制度への対応に向けての議論は、平成14年度に続き平成15年度においても、政策委員会を中心に行ないました。

また、知的財産の迅速かつ適正な保護の要請に対処し、特許権取得等に係る費用負担の適正化を図る趣旨で、料金改正の法案が成立しましたが、この法案は我々弁理士を業務に大きな影響を与える問題であり、大きな関心を持って議論しました。

平成16年４月からスタートする特許権取得等にかかる費用と、特許権などの権利化書類作成にかかる費用とのバランス上、大変考えさせられる問題であり、今後とも大きな課題を残す結果となりました。

6.　委員会活動

日弁には、政策委員会（筒井大和委員長）、協議委員会（幸田全弘／岡部正夫委員長）、規約委員会（小塚敏紀委員長）、会報委員会（杉村純子委員長）、ＨＰ委員会（西岡邦昭委員長）が存在し、活発に活動していただきました。

中でも、緊急の諮問が多かった政策委員会、役員選挙の対応を協議する協議委員会は、委員会開催回数も非常に多く、各委員に献身的な努力およびボランティア活動をしていただきました。協議委員会には若い会員も多く参画し、議論を戦わせていただいたことを力強く感じました。

その他、樺澤副幹事長を中心に、日弁内に新しく研修委員会を設置しました。第１回特定侵害訴訟代理試験に向けての研修会の開催をはじめ、多くのご活躍をいただきました。

7.　その他の活動

西日本との協議、交流会の他、日弁旅行会（伊東）、日弁ゴルフ大会（川奈ゴルフ場）、日弁テニス大会、日弁ボーリング大会、日弁役員当選祝賀会、3回の総会、新年会などの各行事が多くの日弁会員参加の下に開催されました。

日弁をより活性化し、活発化するため、若い会員の積極的な参加をより一層強く期待したいと思います。

三．日弁のクラブ運営

平成15年度は、下記の事項に留意して、日弁のクラブ運営を行ない、幹事団が一体となって活動しました。

① 日本弁理士会の会務運営に責任を持ってバックアップかつサポートすること。
② 知財財産、弁理士制度、弁理士会の組織･役員制度に関する政策提言を行なうこと。
③ 将来の日本弁理士会を担うリーダーを発掘・育成すること。
④ ５会派相互の連係強化・融和を図ること。
⑤ 未組織会員の組織化を推進すること。
⑥ 若手弁理士の育成・戦力化のための研修の充実を図ること。

日弁のクラブ運営･活動を協力にサポートしていただいた幹事団を紹介します。

［平成15年度日弁幹事団の構成］

幹 事 長：波多野　久
副幹事長：畑中　芳実（春秋・庶務）
　　福田　伸一（ＰＡ・記録）
　　樺澤　　聡（南甲・渉外）
　　吉岡　宏嗣（無名・慶弔）
　　渡辺　博光（稲門・会計）
幹　　事：小泉　勝義（無名）
　　須藤　雄一（無名）
　　狩野　　彰（ＰＡ）
　　鴨田　哲彰（ＰＡ）
　　高橋　英樹（稲門）
　　林　　秀男（稲門）
　　中島三千雄（南甲）
　　須藤　　浩（南甲）
　　市川　　誠（春秋）
　　長濱　範明（春秋）

小泉　雅裕（春秋）
渡邉　陽一（春秋）
お世話になりました。

四．最後に

我国産業・経済界は規制緩和と自由競争が進む中で新しい産業や経済に知財戦略を組み入れた新しいスキームが脚光を浴び、注目されています。

日弁会員の皆様が、今後も我国産業・経済の発展に重要な一翼を担われ、私共日弁、日本弁理士会、さらには知的財産分野で主導的な役割を果たされ、心豊かで創造性にあふれた未来社会の構築に向けてご尽力くださるよう切にお願い申し上げます。

日弁は設立当時の基本的理念に立ち返りつつ永年積み重ねた信頼と友情関係を再構築し、時代の変化に迅速かつ的確に対応する日弁の組織化を目指して前進を続けてもらいたいと思います。

結びに、平成15年度の日弁幹事長は、日弁内5派の各幹事長、日弁相談役、日弁各委員会の委員長及び委員、日弁副幹事長、幹事の先生方に多くのご支援・ご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げ、日弁の更なる結束と発展を祈念し、挨拶と致します。

平成15年度日弁政策委員会活動報告

平成15年度
日弁政策委員長　筒　井　大　和

１．今年度の基本運営方針

現在の我々弁理士を取り巻く環境は劇的に変化しており、小泉内閣においては、知的財産戦略大綱及び知的財産基本法に基づき、知的財産戦略本部が立ち上げられ、「知財立国」のスローガンの下に将来の我が国を担うべき知的財産戦略の検討が急ピッチで進められている。

一方、日本弁理士会においては、今年度は、新弁理士法の第２次改正に基づく、特定侵害訴訟代理業務に関する能力担保研修が５月より850名規模でスタートし、今年中には、特定侵害訴訟代理権を有する所謂「付記弁理士」が多数誕生することが期待されている。また、新弁理士法に基づく会則の運用が始まっているが、種々の問題点があり、その見直しが要求されている。さらに、新人弁理士の大量合格時代を迎えて、新人研修制度及び新規業務への対応の在り方等についても、早急に検討・対応することが求められている。

このような状況の中において、日本弁理士クラブは、会長を擁立している責任ある団体として、正副会長会の会務運用を積極的にサポートし、日本弁理士会、弁理士制度、ひいては知的財産制度が抱える課題を鋭意検討し、コンセンサス等を正副会長会に建議し、正副会長会の活動を円滑かつ的確に進められるように、積極的にアシストする責務がある。

当委員会は、日弁幹事長からの諮問を踏まえ、多種多様な検討課題に対して臨機応変に対応すべく、最低５つの部会を構成し、各検討課題に応じて迅速かつ適切な対応を取れる体制とする。また、必要に応じて、当委員会内の検討に留まらず、適宜日弁一般会員にも伝達し、意見を集約できるようにする。

具体的には、日本弁理士会の正副会長会からの検討依頼事項の他に、日本弁理士会にとって喫緊の課題である特定侵害訴訟代理業務に関する能力担保研修などの各種研修について日弁でできること等の研修関係の検討・対応を行う。

また、役員制度及び選挙制度の問題点、弁理士法並びに日本弁理士会会則施行に基づく問題点の検討・対応・見直し等についての検討を行う。

さらに、将来的な事項として、ロースクール構想の弁理士への影響の検討、日本の産業力再生についての検討・対応を行う。

また、協議委員会等と連係を取りつつ、より強い日弁の再生のため、日弁会員増強の具体的方策と各会派間の連係強化策の早急な検討・対応、日弁幹事会及び委員会の任期の検討・対応を行う。

２．諮問事項

(1)　能力担保研修などの各種研修について日弁でできることの検討と対応
(2)　役員制度の問題点の検討と対応
(3)　選挙制度の問題点の検討と対応

(4)　日本弁理士会の正副会長会からの検討依頼事項への対応
(5)　弁理士法並びに日本弁理士会会則施行に基づく問題点の検討と対応
(6)　ロースクール構想の弁理士に及ぼす影響とそれに対する方策の検討
(7)　日本の産業力再生のために日本弁理士会あるいは日弁ができることの検討と対応
(8)　会員増強の具体的方策の検討と対応並びに会内会派間の連係強化への対応
(9)　日弁幹事会及び日弁各種委員会の任期の検討と対応
(10)　弁理士法の見直し及び三次改正についての検討
(11)　日弁内に研修委員会を立上げるか否かの検討
(12)　その他

３．委員会の構成、担当事項、担当委員

(1)　全体委員会：
日本弁理士会正副会長会からの検討依頼事項への対応
(2)　正副委員長会：
同上及び委員会運営の検討・対応
(3)　部会等：
担当諮問事項の審議

Ａ．部会（*他部会兼任）

①　第１部会：担当諮問事項(1)及び(11)
部会長：伊藤　高英 副委員長
部　員：杉本ゆみ子、村橋　史雄、西出　眞吾、三上　　結、石橋　良規

②　第２部会：担当諮問事項（２）及び（３）
部会長：伊丹　　勝 副委員長
部　員：浅村　　皓、幸田　全弘、木戸　一彦、和田　成則、小池　寛治、染谷　伸一、牛木　　護、*久保　　司、桑原　史生、渡辺　望稔、佐藤　辰彦

③　第３部会：担当諮問事項(5)、(6)及び(10)
部会長：狩野　　彰 副委員長
部　員：*神原　貞昭、千葉　太一、木内　光春、浅井　賢治、尾崎　光三、西良　　久、浅賀　一樹

④　第４部会：担当諮問事項(7)
部会長：三好秀和副委員長
部　員：村木　清司、阿形　　明、飯田　伸行、水野　勝文、村上　友一、大橋　良輔

⑤　第５部会：担当諮問事項(8)及び(9)
部会長：高橋　俊一 副委員長
部　員：福田　賢三、香原　修也、米山　尚志、小山　輝晃、向山　正一、千且　和也、榎本英俊

Ｂ．ワーキング・グループ

①　緊急対応W．G．
グループ長：神原　貞昭
グループ員：千葉　太一、三好　秀和、久保　　司、桒原　史生、大橋　良輔、渡辺　望稔、佐藤　辰彦、筒井　大和、三上　　結（庶務）
オブザーバ：下坂スミ子、峯　　唯夫、村木　清司、笹島富二雄

４．審議事項

(1)　新審判制度
(2)　付与後の情報提供制度
(3)　実用新案制度の見直し
(4)　付記弁理士の名称
(5)　構造改革特区(1)、(2)
(6)　新弁理士会館の必要性
(7)　日弁役員の任期
(8)　日弁分担金の値上げ
(9)　会長・総括副会長の政策
(10)　日本弁理士会の役員制度
(11)　支部について

(12) 弁理士業務の在り方
(13) 迅速・的確な特許審査に向けた弁理士の貢献
(14) 今後の日弁の在り方

委員会
（協議委員会）報告

副委員長　小　池　寛　治

(1) 開催回数

協議委員会	14回
選挙対策委員会	５回

(2) 委員会の構成

委 員 長　幸田　全弘（前半）（南甲）
　　岡部　正夫（後半）（ＰＡ）
副委員長　牛久　健司（春秋）前半
　　清水　善廣（春秋）後半
　　桑原　史生（南甲）
　　矢崎　和彦（無名）
　　西村　公芳（稲門）
　　渡邉　敬介（ＰＡ）前半
　　小池　寛治（ＰＡ）後半
委　　員　土屋　　繁（春秋）
　　早川　祐司（春秋）
　　西出　眞吾（春秋）
　　橋本　　清（春秋）
　　打揚　洋次（春秋）
　　光野　文子（春秋）
　　速水　進治（春秋）
　　相川　俊彦（春秋）
　　鈴木　啓靖（春秋）
　　岩永　和久（春秋）
　　玉利　房枝（春秋）
　　佐藤　美樹（春秋）
　　松田　治躬（南甲）
　　中村　　仁（南甲）
　　井上　春季（南甲）
　　千且　和也（南甲）
　　山田　哲也（南甲）
　　伊藤　浩二（南甲）
　　宮永　　栄（南甲）
　　加藤　真司（南甲）
　　田村　　爾（南甲）
　　今井　貴子（南甲）
　　三好　祥二（稲門）
　　稲木　次之（稲門）
　　牛木　　護（稲門）
　　村上　友一（無名）
　　江藤　聡明（無名）
　　高橋　俊一（無名）
　　米山　尚志（無名）
　　須田　元也（無名）
　　藤田　雅彦（無名）
　　山田　　勉（無名）
　　涌井　謙一（無名）
　　石田　昌彦（無名）
　　鈴木　一永（無名）
　　中山　健一（ＰＡ）
　　古関　　宏（ＰＡ）
　　小林　生央（ＰＡ）
　　大西　育子（ＰＡ）
　　谷田　拓男（ＰＡ）
　　鴨田　哲彰（ＰＡ）
　　濱中　淳宏（ＰＡ）
　　青島　恵美（ＰＡ）
　　杉本由美子（ＰＡ）
　　野上　　晃（ＰＡ）
　　福島　弘薫（ＰＡ）前半

(3) 審議の結果

各候補者の決定

会　　長　渡辺　望稔（ＰＡ）
総括副会長　佐藤　辰彦（春秋）
副 会 長　丸島　儀一（稲門）
　　同　　浅賀　一樹（南甲）
　　同　　福田　賢三（ＰＡ）
　　同　　杉本ゆみ子（春秋）
監　　事　堀　　進（春秋）
　　同　　増井　忠弐（ＰＡ）
　　同　　梅村　莞爾（南甲）
常 議 員　樺澤　　襄（南甲）

同　　蔵田　昌俊（南甲）
同　　和田　成則（無名）
同　　高松　俊雄（無名）
同　　中村　　稔（稲門）
同　　井上　義雄（ＰＡ）
同　　河合　千明（ＰＡ）
同　　越智　隆夫（ＰＡ）
同　　馬場　玄武（ＰＡ）
同　　福島　弘薫（ＰＡ）
同　　篠原　奏司（春秋）
同　　紺野　昭雄（春秋）
同　　澤木　紀一（春秋）
同　　正林　真之（春秋）

(4) 選挙の結果

開票日　　平成15年11月18日（火）
会長選挙　　落選
総括副会長選挙　無投票当選
副会長選挙　　無投票当選
監事選挙　　無投票当選
常議員選挙　　無投票当選

(5) 当選祝賀会

平成15年11月20日（木）
如水会館

平成15年度役員再選挙対策委員会（協議委員会）報告

委員長　樺澤　　襄

(1) 開催回数

協議委員会及び選挙対策委員会（中部部会含）　９回
拡大相談役会（新旧幹事、各派新旧幹事、選対委員を含む）　１回
弁理士連合クラブとの協議会　２回
野本候補を励ます会　１回
報告会　１回
候補者３名の講演会　１回

(2) 委員会の構成

委員長　　樺澤　　襄（南甲）
副委員長　　浅村　　晧（ＰＡ）
副委員長　　杉本　ゆみ子（春秋）
副委員長　　松田　治躬（南甲）
副委員長　　亀川　義示（無名）
副委員長　　稲木　次之（稲門）
委員　　福田　賢三（ＰＡ）
委員　　古関　　宏（ＰＡ）
委員　　本多　一郎（ＰＡ）
委員　　玉眞　正美（春秋）
委員　　小泉　雅裕（春秋）
委員　　牛久　健司（春秋）
委員　　伊丹　　勝（南甲）庶務
委員　　真田　　有（南甲）
委員　　千宜　和也（南甲）会計
委員　　村上　友一（無名）
委員　　津久井照保（無名）
委員　　飯塚　義仁（稲門）

(3) 審議の結果

候補者の決定
総括副会長　　野本陽一（南甲）

(4) 選挙の結果

開票日　平成15年４月17日
野本陽一候補　　1326票
木下實三候補　　1442票　当選
古谷史旺候補　　870票

(5) 経過説明

本再選挙は、平成15年度総括副会長として当選された亀井弘勝先生がご就任になられる前の平成15年２月15日に急逝されましたことによるものでした。

日本弁理士クラブ会員の皆様方のご尽力、ご協力を戴きましたが、選挙の結果は、ご承知のとおり、野本候補の当選が叶わず、残念な結果になりましたことは、委員長の不徳の致すところ、心よりお詫び申し上げますともに、野本会員には誠に申し訳ないことをしました。

日本弁理士クラブでは、平成15年２月28日に急遽、野本候補を平成15年度総括副会長候補として擁立することを決定し、３月18日の告示までの20日余りに迫った日程の中で、連日、野本候補の政策などの調整、選挙運動の準備に努めましたが、準備不足は否めませんでした。

また、西日本において、選挙戦を繰り拡げることは亀井先生の遺産を蹂躙する感があり、クラブの組織的な選挙運動を遠慮せざるを得ない状況でありました。

４月３日には３人の候補者の立会い講演会が開催され､野本候補は健闘されたが､選挙運動準備期間が短く、変革の時流には逆らえず、日本弁理士クラブの会員に、野本候補の人柄、信条、政策などについて十分な理解が得られるまでの時間がなく、日本弁理士クラブの会員を掌握できなかったことが大きな原因と思料され、この選挙戦は、後味の悪さだけが残り、嘆かわしく、残念でありました。

会報委員会報告

委員長　杉　村　純　子

平成15年度の会報委員会について、以下のとおりご報告いたします。

(1) 委員会の構成

委 員 長	（稲門）	杉村　純子
副委員長	（ＰＡ）	藤谷　史朗
	（春秋）	磯山　弘信
	（南甲）	金本　哲男
	（無名）	涌井　謙一
委　　員	（ＰＡ）	岡田　英子
	（春秋）	落合　　稔
	（南甲）	金田　周二
	（無名）	土井　健二
	（稲門）	小西　　恵

(2) まとめ

平成15年度は、メールでの連絡を主といたしました。各委員の絶大なるご協力があったからこそ、会報を発行できたものと思っております。15年度の会報は、多方面の会員からの会員便りを多く掲載したことが主たる特徴となっています。

委員長が急に公務員となったため、なかなか時間が確保できず、委員の皆様にはご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

規約委員会報告

委員長　小　塚　敏　紀

平成15年度の規約委員会の構成及び審議内容等につき、次の通り報告します。

１．委員会の構成

委 員 長	小塚　敏紀（春秋）
副委員長	舟橋　栄子（ＰＡ）
	橋本　　清（春秋）
	藤沢　則昭（南甲）
	小塚　善高（無名）
	高久浩一郎（稲門）
委　　員	神林恵美子（ＰＡ）
	有原　幸一（春秋）
	野上　　敦（南甲）
	岩崎　吉信（無名）
	宇野　晴海（稲門）

２．諮問事項

(1) 日本弁理士クラブの役員任期改正案に基づいた日本弁理士クラブの規約改正案の検討及びに作成について

(2) 日本弁理士クラブの料金値上げを各会派に依頼する場合、日本弁理士クラブ規約を改正する必要性の有無の検討

３．会合および審議内容

第一回

日時：平成15年５月21日
午後６時～７時

議事：キックオフ
幹事（舟橋　栄子先生)、
書記（藤沢　則昭先生）の選任。

第二回

日時：平成15年11月５日
午後６時～８時半

議事：諮問事項に関する検討
日本弁理士クラブ会則の役員任期、会計年度に係る条項を改正する改正案、これに関連する会則運用基準の条項を改正する改正案を検討した。

その後、委員相互で電子メールによる連絡により検討し、12月に規約改正案を幹事長へ提出した。

ホームページ委員会報告

委員長　西　岡　邦　昭

平成15年度のホームページ委員会の構成及び審議内容等について、次の通りご報告いたします。

(1) 委員会の構成

ＨＰ委員長	西岡　邦昭（ＰＡ）
副委員長	窪田　郁大（ＰＡ）
	近藤　直樹（春秋）
	中村　　猛（南甲）
	加藤　和彦（無名）
	北野　好人（稲門）
委　　員	増子　尚道（ＰＡ）
	速水　進治（春秋）
	本間　賢一（春秋）
	武政　善昭（南甲）
	石橋　良規（南甲）
	三好　千明（無名）
	佐々木敦朗（無名）
	藤枡　裕実（稲門）

(2) 会合及び審議内容

第１回　開催日時：平成15年５月21日
午後５時半～７時半
場　　所：弁理士会館６階会議室
議　　事：・ＨＰの運営・管理・役割分担について・会報委員会との連携（ＨＰへの会報記事の転載）

第２回　開催日時：平成16年１月29日
午後６時～９時
場　　所：新霞ヶ関ビル・初穂
議　　事：・ＨＰの運営（活性化）についての反省点と次年度への申し送り事項についての取りまとめ・打上げ会

その他の審議内容：随時、ＨＰ委員会専用の掲示板上でＨＰの運営・管理等について審議

(3) ホームページの内容の主な更新

平成15年４月30日	平成15年度事業計画（幹事長 波多野 久）を掲載
平成15年５月16日	会務報告を更新・本年度の標語を掲載
平成15年５月23日	平成15年度 役員･委員リストを掲載
平成15年６月６日	政策委員長からの「新審判制度に係る政令事項についてのお知らせ」を掲載
平成15年６月18日	会派紹介コーナーのＰＡ会紹介ページを更新
平成15年７月13日	会報「日弁」第26号（平成14年版）を掲載
平成15年８月４日	アジア弁理士協会（APAA）のホームページを関連リンクに追加
平成15年９月11日	スケジュールを更新
平成15年９月11日	日弁実務研修会の案内ページを掲載
平成15年10月22日	トップページを選挙用に変更
平成15年11月４日	トップページを通常ページに復帰
平成15年11月18日	平成16年度役員定時選挙当選者（日弁会員）一覧を掲載
平成16年３月８日	平成15年度会報誌をPDFにしてホームページに転載

以上

平成15年度会合行事記録

副幹事長　畑　中　芳　実

［主な会合］

幹事会（拡大幹事会）	11回
相談役会	４回

政策委員会	16回（各部会を含む）
協議委員会	26回（各部会、正副、決起集会、意見聴取会を含む）
会報委員会	会合２回（ｅ－メール、ＨＰ掲示板により随時）
規約委員会	２回
ＨＰ委員会	会合２回（ＨＰ掲示板により随時）
研修委員会	１回
役員選出懇談会	１回
総会	３回
例会	２回

［その他会合］

西日本弁理士クラブ旅行会

平成15年７月５，６日　大阪

西日本弁理士クラブとの意見交換会

平成15年７月９日　大阪

平成15年10月17日　大阪

東海地区および西日本弁理士クラブとの政策意見交換会

平成15年９月10日　名古屋、大阪

［主な行事］

日弁旅行会

平成15年７月12，13日　伊東

ゴルフ大会

平成15年７月13日　川奈ゴルフコース

旅行会研修

平成15年７月12日　伊東

能力担保試験の直前研修（全４回）

平成15年９月22，26日、10月７，９日

連続実務研修（全５回）

平成15年９月29，30日、10月１，２，３日

日弁役員当選祝賀会

平成15年11月20日　如水会館

日弁テニス大会

平成15年11月29日　品川プリンスホテル

ボーリング大会

平成15年12月11日　田町ハイレーン

新年会

平成16年１月16日　東商スカイルーム

以　上

平成15年度総会承認事項

平成15年度副幹事長　吉　岡　宏　嗣

第１回総会（平成15年４月25日）

(1) 平成14年度決算報告の承認を求める件

(2) 平成15年度事業計画の承認を求める件

(3) 平成15年度予算の承認を求める件

(4) 平成16年度日本弁理士会役員の推薦及び日本弁理士クラブ役員選任に関する件

第２回総会（平成15年７月12日）

《議長報告》

平成16年度日本弁理士会役員候補者推薦に関する件

第３回総会（平成16年１月16日）

《議長報告》

平成16年度日本弁理士クラブ幹事長及び政策委員長選任報告

《議事》

(1) 日本弁理士クラブ会則等改正の承認を求める件

(2) 平成16年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事、会計監事選任の件

《中間報告》

(1) 会務報告

(2) 会計報告

今年度選挙対策委員会の残金を次年度本会計に繰り入れることの承認

(3)会計監査報告

（文責　平成15年度副幹事長　吉岡宏嗣）

平成15年度最終会計報告

副幹事長　渡　部　博　光

（平成15年度会計担当）

収入の部（※PDF版は金額省略）

前年度会計からの繰越金　（予算額通り）

各クラブ分担金	（予算額通り）
選対委員会残金	（予算額通り）
利息	
合計	

支出の部（※PDF版は金額省略）

例会・総会	
幹事会	
会報委員会	
協議委員会	
政策委員会	
規約委員会	
HP 委員会	
連絡協議会	
相談役会	
旅行会	
旅行会ゴルフ補助	
新年会	
ボーリング補助	
テニス補助	
庶務(含：慶弔費)	
渉外・交通	
幹事長渉外費	
予備費	
次年度活動準備費	
合　計	
残　金	
次年度繰越金	

以　上

第26回ボーリング大会報告

実行委員　中　尾　俊　輔

第26回日弁ボウリング大会は53名の参加者により平成15年12月11日(木)に田町ハイレーンにおいて開催されました。

上位６名のトータルピンで争う各派対抗の団体戦は、トータル3017ピンの春秋会が優勝し、平成９年度からの７連覇を達成しました。また、２位には無名会で初めて食い込みました。

一方、３ゲームトータルピンで争う個人戦は、樋口和博会員（春秋）が534ピンで優勝しました。何度も優勝しているように見える樋口会員ですが、意外にも今回が初優勝であります。

また、レディース戦は玉利房枝会員（春秋）が341ピンで優勝しました。

さらに、ハイゲームのトップは個人戦優勝の樋口会員が217ピンで獲得しました。

・団体戦

優勝	春秋会		3017ピン
	内訳	樋口　和博	534ピン
		磯田　志郎	530ピン
		佐藤　辰彦	501ピン
		伊藤　高英	501ピン
		中尾　俊輔	485ピン
		本間　賢一	466ピン
２位	無名会		2525ピン
３位	南甲弁理士クラブ		2453ピン
４位	ＰＡ会		2453ピン
５位	稲門弁理士クラブ		2350ピン

(注) ３位、４位は会派内第７位の成績によります。

・個人戦（３ゲーム投球完了者：51名）

優勝	樋口　和博（春秋）	534ピン
２位	磯田　志郎（春秋）	530ピン
３位	佐藤　辰彦（春秋）	501ピン
４位	伊藤　高英（春秋）	501ピン
５位	菊地　保宏（稲門）	496ピン
10位	石橋　良規（南甲）	458ピン
15位	米山　尚志（無名）	438ピン
20位	佐藤　正美（ＰＡ）	423ピン
25位	加藤　真司（南甲）	376ピン
26位（第26回大会）		
	中村　　仁（南甲）	372ピン
30位	樺澤　　聡（南甲）	364ピン
35位	旭　　宏（春秋）	357ピン
40位	真田　　有（南甲）	336ピン
45位	細田　浩一（稲門）	305ピン
ＢＢ	大倉奈緒子（春秋）	271ピン

(注) ３位、４位はハイゲームの成績によります。

・レディース戦（参加者：５名）

優勝	玉利　房枝（春秋）	341ピン
２位	今井　貴子（南甲）	325ピン

・ハイゲーム

１位	樋口　和博（春秋）	217ピン
２位	石橋　良規（南甲）	210ピン
３位	佐藤　辰彦（春秋）	205ピン

平成15年度
日弁テニス大会報告

南甲弁理士クラブ
テニス部　野　上　　敦

例年会場として利用してきた朝日生命久我山スポーツセンターの屋外テニスコートが閉鎖になってしまったことから、平成15年度の日弁テニス大会の企画は新しい会場探しから始まりました。準備期間が短かったことや、場所、交通の便、予算等の面でなかなか折り合いが付かず会場探しは難航しましたが、ようやく品川プリンスホテル高輪テニスセンターの室内コートを抑えることができました。近年の日弁テニス大会は天候に恵まれ雨天中止になった記憶はないのですが、今回はあいにくの雨にもかかわらず室内コートのおかげで大会を支障なく執り行うことができたのでした。

大会は、ＰＡ会（２チーム）、春秋会、無名会および南甲弁理士クラブの計５チームの総当戦により行ない、各コートで熱戦が繰り広げられましたが、最後はＰＡ会が５年連続の優勝を飾りました。ＰＡ会強し！

大会後の懇親会では、表彰式の後、波多野日弁幹事長から上位入賞チームに特別賞が贈られるなどして大いに盛り上がり、一同会派を超えてテニス談義に花を咲かせ、盛会のうちに幕を閉じました。

試合結果

優　勝	ＰＡ会第１チーム	13.5
準優勝	春秋会	9.5
第３位	南甲弁理士クラブ	6.5
第４位	無名会	5.5
第５位	ＰＡ会第２チーム	5.0